

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公開番号】特開2016-215753(P2016-215753A)  
 【公開日】平成28年12月22日 (2016.12.22)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-069  
 【出願番号】特願2015-101244(P2015-101244)  
 【国際特許分類】

**B 6 1 D 27/00 (2006.01)**

**B 6 0 H 1/00 (2006.01)**

【 F I 】

B 6 1 D 27/00 V

B 6 0 H 1/00 1 0 2 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成31年1月23日 (2019.1.23)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 6】

本発明に係る車両用空気調和装置は、開口部から進入した外気を誘導する板部材と、前記板部材により誘導された前記外気を吸引して、室内に前記外気を送出する複数の室内送風機と、を備え、前記複数の室内送風機は、前記開口部の近くに配置された第一の室内送風機と、前記開口部に対して前記第一の室内送風機より遠くに配置された第二の室内送風機と、を含み、前記板部材は、前記開口部から前記第一の室内送風機へ前記外気が直接流入しないように進行方向を変更するものである。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 9】

以下、本発明の車両用空気調和装置の実施の形態について、図面を参照して説明する。なお、図面の形態は一例であり、本発明を限定するものではない。また、各図において同一の符号を付したものは、同一の又はこれに相当するものであり、これは明細書の全文において共通している。さらに、以下の図面では各構成部材の大きさの関係が実際のものとは異なる場合がある。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

開口部から進入した外気を誘導する板部材と、  
 前記板部材により誘導された前記外気を吸引して、室内に前記外気を送出する複数の室内送風機と、を備え、

前記複数の室内送風機は、前記開口部の近くに配置された第一の室内送風機と、前記開口部に対して前記第一の室内送風機より遠くに配置された第二の室内送風機と、を含み、前記板部材は、前記開口部から前記第一の室内送風機へ前記外気が直接流入しないように進行方向を変更する

ことを特徴とする車両用空気調和装置。

【請求項 2】

前記板部材は、前記開口部に対向する位置に設けられる対向部を有する  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の車両用空気調和装置。

【請求項 3】

前記板部材は、前記外気を誘導する誘導方向に延びる誘導部を有する  
ことを特徴とする請求項 2 に記載の車両用空気調和装置。

【請求項 4】

前記板部材は、角部に面取り加工が施されている  
ことを特徴とする請求項 3 に記載の車両用空気調和装置。

【請求項 5】

前記板部材は、前記複数の室内送風機に近い側の一边を軸として回動自在である  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の車両用空気調和装置。

【請求項 6】

前記板部材は、前記外気を前記複数の室内送風機に分配する  
ことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の車両用空気調和装置。

【請求項 7】

前記板部材は、前記外気を均等に分配する  
ことを特徴とする請求項 6 に記載の車両用空気調和装置。